

ファザー・オブ・ザ・イヤー inみえ

大賞

“我が家の育児男子”部門

いなべ市 平尾 つよし 剛志さん

育児対象 子ども(6歳、7歳)



一年の計は元旦にあり！ 我が家には、小学校1年生と年長の年子の娘がいます。ここ数年、元旦の恒例行事として、1年間の目標を設定します。

2016年の目標は長女の場合、

- 1.ーりんしゃがのれるようになる
- 2.いちにちいっぱいしかかない
- 3.ものをだいじにする 等。

次女の場合、

- 1.とけいができる(読める)ようになる
- 2.あさはやくおきるようになる
- 3.かたづけができるようになる 等。

少しだけ背伸びすれば達成出来そうな目標を自分で考え、私と相談しあって決めます。そして、自分で用紙に目標を書き、最後に決意表明を込めて手形を押します。もちろん私も娘達と相談しながら一緒に目標設定します。

これらの目標は1年間、リビングに張り出して、いつでも見れるようにして、娘達に意識付けさせると共に、親としては1年間かけて少しずつ成長を楽しみます。

娘達の寝かしつけは小さい頃から私が実施しています。私たち夫婦は共働きです。仕事から帰った妻は夕飯の準備から片付けと休む間がありません。妻に一日の終わりに休息してもらう事と、娘達とコミュニケーションを取る場として、私は寝かしつけの時間を大切にしています。小学校・保育園で一日にあった出来事を聞いたり、絵本を読んだり、私の会社での出来事を話したり、そして月に1回ほどは目標に対するフォ

ロー会をします。出来るようになった事は？出来ない事はどうすれば出来るようになるか？等、子ども目線で話を聞いて、アドバイスをします。もちろん、出来るようになった事は褒める事は欠かせません。その時の娘達の笑顔は本当に私を幸せな気持ちにしてくれます。

元旦の時点では出来なかった事が今は出来るようになると、娘達なりに達成感を味わい、誇らしげにしています。娘達は私に対してもフォローしてきます(残念ながら目標未達成・・・笑)。

子どもと親がそれぞれの目標を設定して、お互いが1年かけて実行することは自分自身の為になる以上に子どもと親の信頼関係やコミュニケーションを取るためのツールになると思います。また、子どもの成長を実感出来て、親としても幸せを感じる事が出来ます。ダイエット！お酒を控える！子どもたちにフォローされる生活も楽しいですよ！(笑)

### 👍 審査員共感！ポイント

- 1年の目標を親子で立てて、お互いの目標について応援できる家族関係がとっても良い！他の家庭でも、親子でコミュニケーションを取るツールとして活用できそう！
- お母さんがのんびりできる休息タイムを作ってくれている！うらやましい。
- 子どもたちとしっかり向き合っている姿が想像できてステキ！